



八雲町社協だより

ともに支えあう、安心・安全・福祉のまちづくりを目指して

第25回熊石高齢者ふれあい演芸会

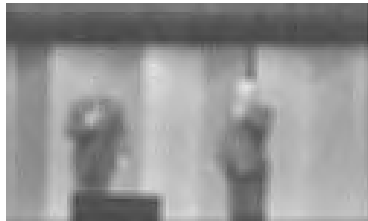


第25回熊石高齢者ふれあい演芸会は、去る2月20日土曜日ふれあい交流センターくまいし館で開催されました。

今年は、ふれあい演芸会が始まってから25回目の開催で、参加された皆さんへ感謝の気持ちを込め、赤飯と紅白饅頭を席に用意でき、会場がとても華やかになりました。

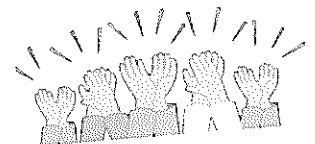
また、今年は熊石高齢者ダンスサークルのメンバーが楽しいダンスの披露をしていただき、今までとは、ちょっと違った雰囲気も楽しめたのではないのでしょうか。

25回 高齢者ふれあい



1時から始まった「ふれあい演芸会」も、全部の演目が終了したのは4時近くでした。参加いただいた高齢者の皆さん、ご苦労さまでした。そして、保育園の園児の皆さんをはじめ、出演いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

また来年も元気でお会いしましょう。



八雲町社協だより



八雲町社会福祉協議会
会長 秋松 等

就任のご挨拶

平素は、八雲町社会福祉協議会にご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、役員の改選に伴い理事の皆様のご推挙とご賛同を賜り、会長の要職を担うこととなりました。微力ではございますが、これまでの経験を踏まえまして、八雲町社会福祉協議会の円滑な運営と地域福祉の充実に向けて、その職責を全うすべく努めてまいりる所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

少子・高齢社会と核家族化の進展や社会経済の変化の中、住み慣れた家庭や地域で安心して生活ができるよう、社協では、新二期地域福祉実践計画を平成二十五年度から五カ年計画で進めており、町、福祉関係機関・団体等と連携協働し、基本理念である「ともに支えあう、安心・安全・福祉のまちづくり」実現に向け、各事業の推進に精一杯取り組んでまいります。

また、皆様の信頼と期待に応えるため、町民から見た社協、利用者から見た介護保険事業所の視点を大切に、役員一丸となり、なお一層の地域福祉の推進に努めてまいります。

今後とも皆様の温かいご支援とご協力を切にお願ひ申し上げます、会長就任のご挨拶といたします。

社協新役員・評議員が
決まりました

平成28年1月31日の任期満了に伴い理事、監事が次のとおり選任されました。

(任期：平成28年2月1日から平成30年1月31日)

理事(敬称略・順不同)

◎会長 ○副会長

◎秋松 等(学識経験者)

○長江 隆一(町内会等連絡協議会)

○佐藤 弘(町内会等連絡協議会)

五十嵐泰雄(町内会等連絡協議会)

能代 常男(民生委員協議会)

目谷 朝子(民生委員協議会)

竹内 弘(老人クラブ連合会)

佐橋 忠男(身体障害者福祉協会)

小西寿美子(子供会育成連絡協議会)

川口 洋子(ボランティア連絡協議会)

相木 愛子(社会福祉施設団体)

小林 元彦(社会教育関係団体)

吉村 達巳(学識経験者)

岡島 省一(学識経験者)

宮田 千秋(学識経験者)

監事(敬称略・順不同)

干場 光(学識経験者)

岩佐 隆治(学識経験者)

評議員(敬称略・順不同)

平成28年4月4日の任期満了に伴い評議員が次のとおり選任されました。

(任期：平成28年4月5日から平成30年4月4日)

大野 尚司(町内会等連絡協議会)

知野 修司(町内会等連絡協議会)

林 勝利(町内会等連絡協議会)

安藤 辰行(町内会等連絡協議会)

山内 和夫(町内会等連絡協議会)

八木 英行(町内会等連絡協議会)

黒島 竹満(町内会等連絡協議会)

油谷 徳悦(町内会等連絡協議会)

伊藤 義親(民生委員協議会)

水口 忠行(民生委員協議会)

竹村 正美(民生委員協議会)

牧 由紀美(民生委員協議会)

岩本 晨(老人クラブ連合会)

若林 元子(老人クラブ連合会)

松田 紀嗣(老人クラブ連合会)

福井 勝行(身体障害者福祉協会)

鍛冶 明美(子供会育成連絡協議会)

片平 紀子(ボランティア連絡協議会)

相木スミ子(ボランティア連絡協議会)

赤井 睦美(女性団体連絡協議会)

矢羽羽京子(社会福祉施設団体)

高橋 敏幸(社会福祉施設団体)

野田 律子(社会教育関係団体)

吉田 久子(社会教育関係団体)

藤本 教夫(産業経済団体)

河井 善雄(学識経験者)

大野 博子(学識経験者)

笹川 則子(学識経験者)

幸村 雅子(学識経験者)

林 玲子(学識経験者)

手塚 利昭(学識経験者)

平成28年度 八雲町社協事業計画

基本方針

八雲町社会福祉協議会は、「ともに支えあう、安心・安全・福祉のまちづくり」を組織理念に掲げ、地域住民・行政・町内会・福祉施設・福祉団体・ボランティア等との密接な連携と協働のもと地域福祉向上に取り組んでまいりました。

しかし、少子高齢化や住民生活の多様化さらには人口減少を背景に、様々な生活課題が引き続き顕在化しており、また、社会保障制度改革により各分野における諸改革が進み、地域住民を取り巻く環境は大きく変化をきてきております。

こうした中、誰もが安心して暮らし続けることができる地域社会を実現していくためには、地域住民相互の繋がりの高めあいとともに生活課題を受け止めていく体制づくりと地域福祉活動が一層求められています。

そのため、目的を共有するすべての個人・団体と協力・協働しながら、平成25年3月に策定した「新第2期地域福祉実践計画」の着実な実践と、次に掲げる10項目の重点推進事業の展開に役職員一丸となって取り組んでまいります。

町からの受託事業を含め、社協の中心となっている在宅福祉サービス事業の実施に当たっては、事業効果が最大限発揮できるよう引き続き遂行に努めます。

八雲町社協は、デイサービス・居宅介護支援・訪問介護（熊石地域）の三事業の介護保険事業所を開設していますが、近年は利用者の減少に加え、昨年度は大幅な介護報酬の改正により厳しい経営環境にあり、本年度以降も改善の兆しが推し計れないことから環境の改善が必要となっています。社協が介護サービス事業を実施していることにより、介護やケアマネジメントの専門性が蓄積され、個別の相談に対し総合的かつ即応的に対応することができます。

そのため、こうした役割を確実に果たすためにも、各事業所の事業計画（案）を基本に、引き続き信頼され親しまれる事業所として、利用者確保の一層の強化と社協らしい事業展開を図りながら、継続的な事業経営に努めてまいります。

重点推進事項

(1)地域実践計画の推進

5年計画（平成25年度～平成29年度）の新第2期地域福祉実践計画については、地域福祉実践計画推進委員会において、必要に応じ事業の進行管理や評価・見直しを行ってまいります。また、関係団体等との協議や相互協力を図り、新規事業をはじめとする計画事業の着実な実施に取り組んでまいります。

(2)地域福祉活動の推進

地域福祉活動は「みんなで支えあう」を理念とし、社協活動との協働を促進するため地域住民やあらゆる団体・組織と連携した住民福祉活動を推進し、様々な課題解決のための取り組みを行ってまいります。

隔年実施の社会福祉大会は本年度で6回目となります。福祉関係者が一堂に会し、地域福祉の意義や役割、また推進方法等について関係者と共有すべく、内容の充実に努めてまいります。

ふれあい広場の開催や乳酸菌飲料配布などの高齢者見守り事業の実施、更には町内会等の自主的な福祉活動への協力支援についても引き続き取り組むとともに、新たに地域特性に応じた「地域包括システムの構築に向けた新たな地域支援事業」への対応について検討し

てまいります。

(3)ボランティアセンターの運営とボランティア団体との連携

地域福祉を推進するためには、ボランティアの協力は不可欠であります。

そのため、ボランティアスクールや青少年福祉活動体験事業の開催、ボランティア愛ランド北海道への参加を通じ、ボランティア活動の推進と育成を目指してまいります。また、各ボランティア団体の活動紹介や支援体制に引き続き取り組んでまいります。

ボランティアセンター（愛情銀行）事業は、主に町の補助金と町民の寄附金を基にボランティア団体への運営助成やボランティア育成事業を実施しています。このうち寄附金は減少傾向が続いていることから、より善意が広がる工夫によって事業の見直しを図ってまいります。

(4)生活困窮者自立支援活動の実施

経済困窮者や社会的孤立の状況にある生活困窮者に対し、「自立支援相談センターおしま」と連携し自立支援相談を行ってまいります。

また、低所得者や経済的な生活課題を抱える世帯に対し、生活一時金（社協単独事業）、生活福祉資金（北

八雲町社協だより

海道社協事業)の貸付と相談支援を行い、経済的自立及び生活意欲の助長促進を図ってまいります。

(5)在宅福祉活動の推進

町からの受託事業を中心に実施している、給食(八雲)、移送(八雲・熊石)、高齢者訪問(熊石)サービスなどの在宅福祉サービス事業については、利用者がより良い生活が送られるよう、サービスの質の向上に努めてまいります。町民の善意により寄贈された椅子やベットの有効活用を行っている福祉用具無料貸付事業について引き続き実施してまいります。

(6)相談・権利擁護事業

心配事相談の多くは経済的要因が大部分であり、行政や関係者と連携を図りながら相談援助活動に努めてまいります。また、各種事業や活動を通じ住民の悩みに速やかに相談にのり適切な助言支援等を合わせて行ってまいります。

北海道社協からの受託事業であります、判断能力が十分でない方の金銭管理等を支援する日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)は、利用要望に対応しうる体制を整え、生活支援員の確保等実施体制の万全を期してまいります。

(7)介護保険事業所の健全経営

介護保険事業(通所、居宅、訪問)は、利用者満足度アンケートにおいて高い評価を受けており、今後においても利用者の声を受け止め親しまれる介護サービスの提供体制に努めてまいります。

しかし、昨年度の介護保険法の改正や介護報酬の減額改正から各事業において収支均衡を図ることが困難な状況とともに、通所介護事業所においては介護報酬区分の見直し等から、一層慎重な事業運営の在り方が求められており、各事業所の収支の均衡に努めながら、介護保険事業総体として運営方法の見直しを図ってまいります。

(8)財源の確保と財政の確立

八雲町社協は、町からの運営補助金、在宅福祉サービス等の委託金、介護保険事業にともなう介護報酬、町民等からの愛情銀行への寄附金、更には住民の理解と協力を得た自主財源であります個人会費・賛助会費・特別会費及び共同募金助成金など多様な公的財源により運営されています。

会費などの自主財源は、人口減少や長引く経済不況により厳しい状況にあります。役職員一丸となって財源確保に努めてまいります。

①会費納入について

自主財源の中で大きな割合を占める会費については、引き続き住民や町内会等の理解を得ながら個人会費の納入と賛助会員・特別会員の加入促進に努めてまいります。

②共同募金運動への協力

住民の善意と助け合いの精神により、地域福祉推進

の取り組みを財源で支える赤い羽根共同募金は、社協が行っている各種団体助成金の原資であり重要な自主財源であります。

そのため、八雲町共同募金委員会が実施する募金活動に対し、積極的に参加し支援協力してまいります。

③基金・積立金について

社協には、資本金となる基本財産のほか、福祉基金、財政調整基金、人件費積立金、備品購入積立金、退職手当引当金があり、その管理には八雲町社協資金管理運営方針等に基づき万全を期してまいります。

また、資金状況に応じ積立と基金設置目的に沿い有効活用を図ってまいります。

(9)社協組織運営の充実

①啓発・広報活動

「社協だより」、「支所だより」を年4回発行し、各種事業や行動の周知を図り社協活動の啓発に努めてまいります。

また、ホームページを活用した広報活動も行ってまいります。

②組織運営の充実

評議員会、理事会の開催を通して、法人運営や事業推進の方向性を決定するとともに、監査の実施により法人運営の適正化を図ってまいります。

また、必要に応じ各委員会及び正副会長会議を開催し個別対応を図ります。更には研修会への参加や関係団体との交流等を通じ情報収集に努め、地域福祉を推進する団体との役割・機能を発揮し、地域に理解と信頼を得られる社協づくりに努めてまいります。

職員研修会を年2回開催するなど、職員の資質向上と専門性の確保に努めてまいります。

③地域間交流の促進

平成26年度より開催している渡島噴火湾社会福祉協議会(鹿部町・森町・八雲町・長万部町)連絡会議に積極的に参加し、近隣社協との連携・交流を一層推進してまいります。

また、八雲・熊石両地域の交流についても、引き続き各種行事・事業等の相互参加等を図りながら、交流促進を一層の推進に努めてまいります。

(10)町からの受託事業の実施

町からの受託事業は次のとおりとなっております。遺漏のないよう努めてまいります。

- ①八雲町総合保健福祉施設シルバープラザ管理業務
- ②寝たきり高齢者等移送サービス事業(八雲・熊石地域)
- ③高齢者等給食サービス支援事業(八雲地域)
- ④緊急通報体制整備事業(八雲・熊石地域)
- ⑤生きがいデイサービス運営事業(八雲地域)
- ⑥要介護認定訪問調査事業(八雲地域)
- ⑦介護予防サービス計画作成業務(八雲地域)
- ⑧高齢者生活指導員派遣事業(熊石地域)
- ⑨独り暮らし高齢者訪問事業(熊石地域)

(5)

八雲町社協だより

平成28年度八雲町社会福祉協議会収支予算

〔本所拠点区分〕

(単位:千円)

○法人本部運営事業	47,749	○通所介護事業	32,245
○共同募金助成金事業(本所)	1,650	○居宅介護支援事業	16,236
○在宅福祉事業(本所移送・給食)	6,177	○ボランティアセンター(愛情銀行)事業	1,091
○緊急通報システム事業	2,052	○生活一時金貸付事業	1,500
○ふれあい広場事業	1,336	○生活福祉資金貸付事業	173

(収入)

(支出)

(単位:千円)

科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
会 費 収 入	3,538	人 件 費	84,939
町 補 助 金 収 入	31,110	事 業 費	12,277
町 受 託 金 収 入	23,101	事 務 費	6,821
道 社 協 受 託 金 収 入	353	助 成 金 支 出	495
共 同 募 金 助 成 金 収 入	1,650	共 同 募 金 助 成 金	1,650
介 護 保 険 収 入	43,681	貸 付 事 業 支 出	1,500
寄 附 金 収 入	370	施 設 整 備 支 出	588
受 取 利 息 配 当 金 収 入	14	積 立 資 産 支 出	1,093
雑 収 入	33	サ ー ビ ス 区 分 間 繰 入 金 支 出	626
償 還 金 収 入	1,500	予 備 費	220
拠 点 区 分 間 繰 入 金 収 入	140		
サ ー ビ ス 区 分 間 繰 入 金 収 入	1,111		
前 期 末 支 払 資 金 残 高	3,608		
本 所 拠 点 区 分 収 入 予 算 合 計	110,209	本 所 拠 点 区 分 支 出 予 算 合 計	110,209

〔支所拠点区分〕

(単位:千円)

○共同募金助成金事業(支所)	490	○訪問介護事業	11,029
○在宅福祉事業(支所移送)	1,535	○小口資金貸付事業	501

(収入)

(支出)

(単位:千円)

科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
町 受 託 金 収 入	2,223	人 件 費	10,760
共 同 募 金 助 成 金 収 入	490	事 業 費	1,635
介 護 保 険 収 入	7,659	事 務 費	70
自 立 支 援 費 等 収 入	107	貸 付 事 業 支 出	500
受 取 利 息 配 当 金 収 入	2	共 同 募 金 助 成 金	490
雑 収 入	1	予 備 費	100
償 還 金 収 入	500		
前 期 末 支 払 資 金 残 高	2,573		
支 所 拠 点 区 分 収 支 予 算 合 計	13,555	支 所 拠 点 区 分 支 出 予 算 合 計	13,555

収入予算総合計

123,764

支出予算総合計

123,764

社協会員への加入をお願いします!!

皆さまからの社協会費は地域福祉事業に活用されています。

当社協は、町民皆様のお力添えに支えられながら、地域福祉、在宅福祉そして介護保険事業所の運営を推し進めております。

社協の運営財源は、町民皆様から収めていただく会費、町補助金、受託事業の受託金、赤い羽根共同募金の助成金、そしてボランティアセンター（愛情銀行）によせられた寄付金（浄財）、介護報酬等により賄われています。

主な使い道は、職員の人件費、介護保険事業、毎年開催するふれあい広場事業（敬老会）、在宅福祉事業（移送サービス事業、給食宅配事業、緊急通報システム設置事業等）、会報（社協だより）発行事業、各種福祉団体、青少年団体への助成事業等に使われております。

お願いする会費は次のとおりです。

◎一般会費 500円

本年度もご理解賜りご協力下さるようお願いするとともに、全戸加入下さるようご協力をお願いします。

◎賛助会費 一口 3,000円

後日、社協役員がお伺いいたしますので、社協の地域福祉事業にご理解いただき、一口以上のご配慮下さるようお願いします。



平成27年度熊石中学生・高校生 冬休み体験ボランティア事業



八雲町社会福祉協議会では、熊石地域の中学生、高校生を対象に冬休み中の体験ボランティア事業を実施しました。

福祉現場での体験ボランティア事業は、相沼保育園、熊石保育園、くまいし荘、熊石デイサービスセンター、ヘルパーとのふれあい訪問を1月7日（木）～8日（金）の2日間で27名の生徒さんに参加していただきました。



寒い日だったにもかかわらず、参加者みなさんが元気に挨拶をしている姿は、とても頼もしく感じました。

また、今年3月で閉校の熊石高校の生徒さんも参加していただき、本当にお世話になりありがとうございました。

今回は、2日間で延べ34名の方が参加して下さいました。お疲れさまでした。



平成27年度ボランティアスクール開催中



平成28年2月13日（土）シルバープラザにて、平成27年度ボランティアスクールを開催いたしました。

毎年ボランティアのネットワークづくりやボランティア参加者の知識・資質の向上を図ることを目的に開催しています。

今年度は、69名の方々が参加されました。



7年度 ボランティアスクール



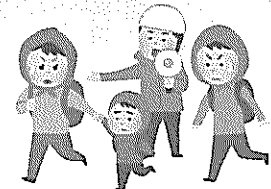
27年度 ボラ通



午前の講師に前渡島地区ボランティア連絡協議会会長でありました、長万部町の呉敏弘氏をお迎えして講演をしていただきました。

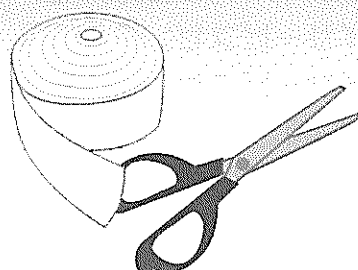
『ボランティアとはなによ？～あれから50年～』をテーマに現在も幅広くさまざまなボランティア活動を行い、ご活躍されている呉氏は、有珠山の噴火時の避難者の受け入れや感じたこと、経験しなければわからないことなど冗談を交えながら当時の状況などをお話してくださいました。

終始会場は笑いに包まれながらもみなさん真剣に聞き入っていました。



午後からの講習では、日本赤十字社北海道支部より指導員の花井一信氏と井口陽悦氏が『三角巾を使った応急手当』をテーマに講習をしていただきました。

参加したボランティアの中には日赤奉仕団の方もおり、うまくできている方もいればぐるぐる巻きになっている方もおり、笑いを交えながら楽しく学ぶことができました。一つ一つの包帯の巻き方にも意味があり、みなさん関心することもあり、ボランティア活動中以外にも私生活にも役立つ講習になったようでした。



皆さんの温かい善意のご寄付ありがとうございました

ボランティアセンター（愛情銀行）

平成27年12月16日～平成28年4月15日

（順不同・敬称略）

一般寄付

○匿名 319,398円

○スナック草笛 118,283円

（平成26年度より継続）

○千本 教恵 三杉町 50,000円

○すみれダンスサークル 20,000円

（平成26年度より継続）

○長水 憲一 熊石畳岩町 100,000円

物資寄付

○匿名 雑巾52枚

社協活動メモ

十二月

・仕事納めの式（十二月二十九日）

・仕事初めの式（一月五日）

・八雲町身体障害者福祉協会新年会

・八雲ボランティア新年親睦会

・八雲町民生委員推薦会

・第二回評議員会

・第三回正副会長会議

・八雲民謡会新年親睦会

・第三四半期監事監査

・まちづくり推進会議

・主任介護支援専門員研修

・熊石中・高生冬休み体験ボランティア

札幌市

一月

・第五回理事会

・第二回八雲町共同募金委員会理事会

・落部婦人ボランティア新年会

・ボランティアスクール

・第四回正副会長会議

・八雲町民生委員協議会定例会

・北海道デイサービスセンター施設長研修

・東野老人クラブ福寿会新年総会

・第二十五回熊石高齢者ふれあい演芸会

・第三回北渡島松山保健医療福祉圏域連携推進会議「地域医療構想調整専門部会」

・平成二十七年八雲保健所高次脳機能障がい者ネットワーク会議

・平成二十七年北海道社協職員連絡協議会第二回正副会長・ブロック代表幹事合同会議

・関内町内会第一回安心安全ふれあいサロン

札幌市

二月

・第五回正副会長会議

・第二回八雲町介護保険事業運営委員会及び第二回八雲町地域包括支援センター運営協議会

・第六回理事会

・八雲保健所自殺対策連絡会議

・八雲町総合開発委員会

・平成二十七年第三回管内社協会長・事務局長会議並びに第二回管内社会福祉協議会連絡協議会役員会

渡島合同庁舎

・第三回評議員会

・独立行政法人国立病院機構八雲病院存続期成会

・熊石身体障害者福祉協会初春の集い

三月

・年度初め式

・八雲町地域子ども会育成連絡協議会総会

・立岩羽衣会通常総会

・八雲ボランティア総会

社協職員の動き

この度、次のとおり異動がありましたのでお知らせいたします。

※平成28年3月31日付退職者

大柳 武夫（在宅福祉係）

※平成28年4月1日付採用

運転手

伊勢田 智明（在宅福祉係）

※平成28年4月1日付昇任

デイサービスセンター係長

安井 寿洋（デイサービスセンター主任）

デイサービスセンター主任

工藤 美保（デイサービスセンター係）

※平成28年4月1日付異動

居宅介護予防係長

羽賀 春美（デイサービスセンター係長）

～よろしくお願ひ申し上げます。～



会報第四十一号 ◎八雲町社協だより◎

平成二十八年五月一日発行

二海郡八雲町栄町十三一

社会福祉法人 八雲町社会福祉協議会

TEL 0137-641211
FAX 0137-631216